

木村 廣道（東京大学大学院 薬学系研究科 特任教授）

東京大学薬学系研究科博士過程修了（薬学博士）、スタンフォード大学大学院 ビジネススクール修了（MBA）。協和発酵工業、モルガン銀行、アマシャム・ファルマシア・バイオテック代表取締役社長、日本モンサント代表取締役社長、ヒュービットジェノミクス代表取締役社長を経て現職。株式会社ファストトラックイニシアティブ代表取締役社長、日本スタンフォード協会副会長、経済同友会幹事など兼務。

西山 圭太（経済産業省経済産業政策局産業構造課長）

東京大学法学部卒。オックスフォード大学哲学・政治学・経済学コース卒業。通商産業省（当時）にて資源エネルギー庁、通商政策局等、また、経済産業省にて大臣官房秘書課人事企画官、大臣官房企画課政策企画官、内閣府（出向・産業再生機構準備室企画官）、通商政策局情報調査課長、通商政策局アジア大洋州課長を経て現職。中央大学大学院公共政策研究科客員教授を兼務。

有沢 幹雄（中外製薬株式会社 常務執行役員 研究統轄、R&D ポートフォリオマネジメントユニット長）

名古屋大学大学院博士課程修了（薬学博士）、ロシュ研究所（日本、スイスバーゼル）、同鎌倉研究所所長（日本ロシュ取締役、ロシュ Research Management Team メンバー）、中外製薬株式会社研究所（御殿場、鎌倉）副本部長、本部長を経て現職。

藤原康弘（国立がんセンター中央病院 臨床試験・治療開発部長）

広島大学医学部医学科卒業。国家公務員等共済組合連合会呉共済病院、国立がんセンター病院、同研究所、米国ダートマス大学、広島大学医学部附属病院、国立衛研医薬品医療機器審査センター、国立がんセンター中央病院（医長）を経て現職。東京大学大学院薬学系研究科特任教授、順天堂大医学部客員教授、北里大学大学院客員教授、慶應義塾大学医学部客員教授、日本臨床腫瘍学会評議員等を兼任

嶋内 明彦（株式会社エムズサイエンス代表取締役社長）

早稲田大学教育学部英語英文科卒業。味の素株式会社、American Hospital Supply Japan Inc.（現バクスター株）、富士レビオ株式会社、Fujirebio America Inc. (FAD)社長兼 CEO、Ortho-Clinical Diagnostics K.K.取締役、Quintiles Transnational Japan K.K.CRO 部門 Company President を経て現職。

吉松 賢太郎（エーザイ株式会社 常務執行役 研究開発担当）

東京大学院薬学系研究科修士課程修了。薬学博士。エーザイ創薬第二研究所長、同創薬研究本部長などを経て現職。エーザイ・アール・アンド・ディー・マネジメント株式会社社長を兼任。

妙中 義之（国立循環器病センター研究所 副所長 先進医工学センター長、併任・大阪大学医学部教授）

大阪大学医学部卒業。同附属病院、大阪厚生年金病院、大阪府立病院、ユタ大学人工臓器部門、テキサス心臓研究所、国立循環器病センター研究所（人工臓器部部長）を経て現職。国立循環器病センター病院外科部長を兼任。

島田 隆（日本メドトロニック 代表取締役社長）

東京大学経済学部卒。ハーバード大学ビジネススクール修了（MBA）。ボストン・コンサルティング・グループ、ヒルティ・ジャパン バイス・プレジデント、ウォルト・ディズニーTelevision事業部 日本代表、AT カーニー バイス・プレジデント、日本メドトロニック バイス・プレジデントを経て、現職。

高坂 新一（国立精神・神経センター神経研究所所長）

慶應義塾大学医学部卒。同大学院医学研究科（生理学）修了。慶應義塾大学医学部、ミシガン大学精神保健研究所、国立精神神経センター神経研究所（代謝研究部・部長）を経て、現職。東邦大学医学部・客員教授、慶應義塾大学医学部・客員教授、早稲田大学理工学部・客員教授、九州大学薬学部・非常勤講師を兼任。

塩村 仁（ノーベルファーマ株式会社 代表取締役社長）

一ツ橋経済学部卒。コーネル大学ビジネススクール留学。三菱化成工業（現・三菱化学）、三菱東京製薬（現・田辺三菱製薬）、三菱化学・ヘルスケア企画室長（三菱化学安全科学研究所、三菱化学メディカル、ダイアヤトロン、ゾイジーン、ジェンコム 5社の取締役および三菱化学 BCL 監査役、三菱化学生命科学研究所改革委員を兼務）を経て現職。

杉本 俊二郎 (グラクソ・スミスクライン株式会社 取締役 バイオロジカルズ担当)

大阪大学工学部卒。大阪大学大学院工学研究科修士課程修了(工学修士)。大阪大学大学院工学研究科にて博士号取得(工学博士・論文博士)。青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科修士課程修了(国際マネジメント修士)。日本ロシュ(株)、サントリー(株)、ヘキスト・ジャパン(株) (途中、西ドイツ国立生物工学研究所へ留学)、財団法人 化学及血清療法研究所を経て、グラクソ・スミスクライン株式会社にて現職。東京大学工学部 講師、社団法人 化学工学会 バイオ部会 幹事を兼務。

門脇 孝 (東京大学大学院 医学系研究科 教授)

東京大学医学部卒。東京大学医学部第三内科、米国国立衛生研究所 (NIH) 糖尿病部門、東京大学大学院医学系研究科代謝栄養病態学 (糖尿病・代謝内科) 助教授を経て、現職。東京大学総長補佐 (平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月)、東京大学医学部附属病院副病院長 (平成 17 年 4 月～)、日本糖尿病学会理事長、国立遺伝学研究所客員教授、順天堂大学客員教授、群馬大学客員教授などを兼任。

Dr. Per Clauson (Senior Principal Scientist/Medical Science Director, Novo Nordisk Pharma Ltd)

M. D., Ph. D. from Karolinska Institute in Stockholm, Sweden. Specialist Endocrinology and Internal Medicine with working experience as a physician at Dept. of Internal Medicine in Karolinska Sjukhuset (Stockholm, 1980-1981), Dept. of Internal Medicine Södersjukhuset (Stockholm, 1981-1985) and Dept. of Diabetology and Endocrinology in Karolinska Hospital (Stockholm, 1985-1996).

Joining Novo Nordisk A/S in Denmark from 1997 as an International Clinical Product Manager (-1998), an International Clinical Product Manager (2001-Oct 2002), an International Medical Officer (2002 Oct-2004 Dec), a Senior Principal Scientist (2004 Dec - 2006 July) and then a Medical Science director at Novo Nordisk Pharma Ltd in Japan (2006 Aug - present).

松田 修一(早稲田大学ビジネススクール経営専門職大学院 (MOT 担当) 教授)

早稲田大学商学部卒業、早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了(商学博士)。監査法人サンワ事務所(現監査法人トーマツ)、早稲田大学アジア太平洋研究センター(旧システム科学研究所)、同学外連携推進室(室長)、同ビジネススクール・経営大学院(教授)を経て現職。早稲田大学アントレプレヌール研究会代表理事、早稲田大学大学院商学研究科(ビジネススクール)教授、WBS研究センター所長を兼任。

ロバート・アラン・フェルドマン (モルガン・スタンレー証券株式会社 マネージング・ディレクター)

イエール大学卒(経済学/日本研究)。マサチューセッツ工科大学にて経済学博士号取得。国際通貨基金(IMF)、ソロモン・ブラザース・アジア証券、モルガン・スタンレー証券会社チーフエコノミスト、株式調査部長を経て現職。AFS 交換留学生(1970 年)として初来日、野村総合研究所(1973-74 年)、日本銀行(1981-1982 年)にて研究業務に従事。

講師ご略歴については随時更新予定